

平成 31 年度第 1 回市立伊丹病院地域医療支援委員会議事録

開催日	平成 31 年 4 月 25 日 (木)	時間	13 時 45 分 ～14 時 15 分	場所	市立伊丹病院 くすのき講堂
出席者	<p>委員： 常岡委員長(伊丹市医師会会長)、栗田委員(宝塚市医師会会長)、藤末委員(川西市医師会会長)、木村委員(三田市医師会会長)、森田副委員長代理として飯田委員(伊丹市歯科医師会副会長) 千葉委員(伊丹市薬剤師会会長)、清水委員(兵庫県伊丹健康福祉事務所長)、辻委員(伊丹市消防局長)、坂本委員(伊丹市健康福祉部長)、赤井委員(宝塚市健康福祉部長)、荒崎委員(川西市健康増進部長) 岡野委員(学識経験者)、中田委員(伊丹市病院事業管理者)、飯石委員(市立伊丹病院病院長)、中村委員(市立伊丹病院地域医療連携室主任部長)、伊東委員(市立伊丹病院地域医療連携室部長)、大迫委員(市立伊丹病院看護部長)、田中委員(市立伊丹病院事務局長)</p> <p>委任状： 東委員(尼崎市医師会会長)、入江委員(三田市福祉共生部長)</p> <p>オブザーバー(市立伊丹病院)： 筒井(副院長)、森田(副院長)、三木(診療部長)、濱口(診療部長) 下山(診療部長)、太田(歯科口腔外科主任部長)、萩原(放射線診断科主任部長)、勢旗(医療技術部室長)、上田(薬剤科長)</p>				
議題内容	<p>■ 開会のごあいさつ</p> <p>本日はお忙しい中、平成 31 年度第 1 回市立伊丹病院地域医療支援委員会にお越しいただきましてありがとうございます。本日は、市立伊丹病院の実績報告をしていただき、地域医療支援病院としてこれからはますます機能を高めていくための議論をしていきたいと思っております。限られた時間ではございますが、皆様ご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。</p> <p>■ 委員紹介</p> <p>席次順に紹介 出席者過半数を超えているので本会は成立することを報告。 本委員会は「公開等および傍聴についての要綱」第 2 条ならびに第 3 条による公開となっており開催案内したが傍聴希望者は無</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本委員会は議事録作成のため録音している</li> <li>・会議録の記載内容回             <ol style="list-style-type: none"> <li>1.開催の日時および場所</li> <li>2.出席した委員、臨時委員、専門医委員および関係人の氏名</li> <li>3.議題およびその内容</li> <li>4.議題の要旨</li> <li>5.議決事項</li> <li>6.その他委員長が必要と認める事項</li> </ol> </li> </ul> <p>討議の中での発言内容、発言者の氏名は記載無し 第 18 条により 会議録は市立伊丹病院ホームページにて公開</p> <p>■ 任期満了に伴う委員長および副院長の互選について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・立候補や意見も無いため、引き続き、委員長に伊丹市医師会会長の常岡様、副委員長に伊丹市歯科医師会会長の森田様に依頼。両者ならびに委員全員の了承を得た。また、各委員についても 2 年間の任期を依頼し了承を得た。</li> </ul> <p>■ 議事署名人の指名について(2 名)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・常岡委員長より指名 飯田委員、辻委員に依頼したい。両者共に了承。</li> </ul>				

## ■ 議事

### 1) 紹介患者に対する医療提供について

資料 1-① 1-② 1-③ 1-④ 1-⑤に従って説明

資料 1-① 紹介率 82.8% 逆紹介率 108.7%で、承認要件を満たしている。

資料 1-② 前年比較に診察依頼、入院目的、検査依頼共に増加。合計として 996 件の増加。

資料 1-③ 入院患者の 36.9%が紹介を受けた患者である(前年 35.7%)。

資料 1-④ 紹介患者の 80%が地域医療連携室を利用され受診された(前年度より 2%の増加)。

資料 1-⑤ 住所地別紹介患者数では伊丹市、宝塚市、川西市の順となっている。

→ 平成 30 年度は全体的に件数が増加している。特に地域医療支援病院紹介率が 80%を超えたことが大きな進歩だと感じられる。

### 2) 救急医療の提供について

資料 2-①、資料 2-②に従って説明

資料 2-① 前年度と比較して、救急搬送数、入院患者数および入院化率は増加している。

資料 2-② 救急搬送お断り率は 11.7%で、前年度と比較し 4.1%減少した。

→ 救急外来患者数が増加しているが、受け入れ体制の影響があるのか。

研修医が 10 名から 20 名に増員したこともあり、できるだけ救急患者をお断りせず受け入れる体制にした。これにより救急搬送数含め件数増加につながったかと思われる。

### 3) 地域の医療従事者に対する研修について

資料 3 に従って説明

地域医療従事者研修会は 28 回開催した。院内の出席者はのべ 2445 名、院外からは 574 名。

→ 最近では、医療介護連携も話題になっているが、介護関係からの出席や連携についてはどうか。在宅医や訪問看護などと協同して研修会を実施している。伊丹市全体で地域包括システムを推進している。

地域包括ケアを進めるためには、多職種間の連携が必要で重要になってくる。今後も引き続き研修会等の開催をお願いしたい。

### 4) 開放病床の運用実績について

資料 4 に従って説明

利用率は 3.4%、前年度より減少した(前年度は 9.6%)。

→ 少しずつ、改善傾向がみえられるが、現状はいかがなものか。

現在では、眼科の白内障手術や循環器内科のアブレーション治療による共同診療で利用しており今後の利用率増加に期待している。

### 5) その他

- ・ 今回の報告にて、救急患者の受け入れ数が増加したと見受けられる。各医師会としても心強い報告だった。
- ・ 当院と消防局との連絡会議を再開した。全体的な会議は年 1 回、実務者レベルの交流会的な会議を年 1 回開催し、情報共有と更なる連携強化を目指している。

## ■ 閉会のごあいさつ

本日はお忙しい中ご出席くださり誠にありがとうございました。昨年度もみなさまには大変お世話になり、お蔭様でさきほどご報告申し上げましたように地域医療支援病院としての条件をクリアすることができました。これもひとえに委員のみなさまのご支援の賜物と感謝申し上げます。昨年度の実績として特筆すべきことは、救急車の受け入れ件数が 4,500 件あまりと前年度に比べて 18%増加し、しかも以前は約 30%の救急搬送を断っていました、それが昨年度は約 12%にまで減少したことです。「断らない救急」を目指して職員が努力してくれた結果と喜んでいきます。

今年度の当院の診療体制についてご報告いたします。

まず、地域医療連携室の体制変更についてご報告します。主任部長であった関副院長が退職されたので、老年内科の中村主任部長が新しく地域医療連携室主任部長に、そして同じく老年内科の伊東部長が室部長に就任しました。この二人が中心となって運営しますのでよろしく申し上げます。

当院はこれまで兵庫県「がん診療連携拠点病院」に指定されていましたが、4月1日に国から「地域がん診療連携拠点病院」に指定されました。阪神北医療圏の中で平成28年の院内がん登録数が最も多かったこと、がんの手術・放射線治療・化学療法の件数と成績、緩和ケアなどの患者さんへのサポート体制の充実などが評価された結果と考えています。引き続き阪神北医療圏のがん患者さんが、住み慣れた地を離れることなく充実したがん診療を受けられる体制づくりを進めてまいります。

お蔭様で本年度も医科10名と歯科1名の臨床研修医を迎えることができました。2年目の初期研修医と合わせて現在20名が在籍しています。とくに地域医療の研修では医師会、歯科医師会のみなさまのご協力が不可欠です。今後とも研修医への温かいご指導をお願いいたします。

今週末からいよいよゴールデンウィークの10連休に入ります。当院では人工透析や放射線治療は連休中も継続して行いますが、通常の外来診療や検査などはお休みさせていただきます。もちろん救急診療は通常通り24時間体制で対応しますので、開業されている地域の先生方や伊丹市休日応急診療所・阪神北広域子ども急病センターなどと連携して市民のみなさまに安心していただける救急医療を提供いたします。なお、宿日直の医師をサポートするため4月30日と5月3日には内科・外科医師の約半数が出勤し、専門的な見地から入院患者さんの診療にあたる体制を整えています。

本日は本当にありがとうございました。6日後に新しい令和時代が始まりますが、今後とも市立伊丹病院へのご支援のほどをお願い申し上げて閉会のご挨拶とさせていただきます。

## ■ 謝辞

本日は、第1回市立伊丹病院地域医療支援委員会にてご審議を頂き、無事に終えることができましたことにお礼申し上げます。

地域医療を含めた病院の診療につきましては飯石病院長から話しがありましたので、私の方からは公立学校共済組合近畿中央病院との統合等に関する件につき、現在までに分かっていることにつきまして少しご説明させていただきます。

昨年度に開催されました「市立伊丹病院あり方検討委員会」からの「検討報告書」は、委員長の澤先生から伊丹市長に手交されました。その内容の要旨は伊丹市が作成したパンフレットによって分かり、詳細としては「検討報告書」が出ています。

今後は、共同調査事業としまして伊丹市が予算取りをして頂いておりますので、仮称ですが「統合検討会議」の様な会議を開催して、今年度中にもう少し具体的な統合等に関する結論が出されてくるものと考えております。

今後ともこの地域医療と両病院の統合等につき、お力添えを宜しくお願い申し上げます。

本日はどうもありがとうございました。

別紙のとおり「平成 31 年度第 1 回市立伊丹病院地域医療支援委員会議事録」として作成する。

作成者 令和 / 年 5 月 23 日

菅岡 豊



印

別紙のとおり「平成 31 年度第 1 回市立伊丹病院地域医療支援委員会議事録」として確認する。

議事録署名人 令和 / 年 5 月 27 日

辻 博夫



印

議事録署名人 令和 / 年 5 月 30 日

飯田 良治



印